

その都度、対応してきた。

**病院事業について**

(水曜日)

**問**

①医師をはじめ医療スタッフの確保が厳しい状況にある中、職種ごとに必要な職員の確保は。②中核市の市民病院として、看護師養成対策の検討は。

**答**

①医療法により必要とされる医師や看護師などの職員数については、基準を満たしており、研修医の受け入れも着実に進んでいる。しかし、産婦人科の医師は、依然として厳しい状況にあり、引き続き医師の確保に向け取り組んでいく。②市医師会看護専門学校に加え、新たに福山平成大学に看護学部が開設されており、今後の状況を見守る中で検討をしていく。

**教職員への公的パソコンの導入 (新政クラブ)**

**問**

職務の効率化や職務幅を広げるためのパソコン導入は一般化・定着化しているが、教職員の公的パソコン導入は現在2人に1台と聞いている。校務

の進め方や情報機能の枠組みを整理し、全員にパソコンを導入することが、個人情報漏えいなどのリスク防止や教職員の繁忙感の緩和にもつながると考えるが。

学校へのパソコンの配置は、児童生徒用としてパソコン教室に21台、事務室用に1台、各教員の校務用として2人に1台の割合で配置している。今後、計画的な整備について検討していく。

**答**

学校へのパソコンの配置は、児童生徒用としてパソコン教室に21台、事務室用に1台、各教員の校務用として2人に1台の割合で配置している。今後、計画的な整備について検討していく。

**道徳教育の取り組み**

(水曜日)

**問**

本市の公立小中学校における道徳教育の取り組みと方向性は。また、暴力行為の抑止などに道徳教育は有効と考えるが、発生実態とあわせて考えは。

**答**

本市では、5年前の学校教育ビジョンにおいて、全ての学校が取り組むよう指導した。道徳の授業参観や学級懇談などを通して、道徳性をはぐくむ家庭の重要な役割について、保護者の理解を得るよう取り組んでいる。学校の道徳教育の取り組みと地域でのさまざまな支援が暴力行為の発生率の低

下となって表れていると受け止めている。

**中学生の逮捕について**

(明政会)

**問**

先日から2件の中学生の逮捕者が出たが、近年の市内小中学校における警察への通報件数、生徒の逮捕件数は。また、授業に位置づかない、授業を妨害する生徒には出席停止の措置を取り、保護者の責任も問うべきと考えるが。

**答**

警察への通報および逮捕件数は、18年度5件中5件、19年度8件中7件、本年度6月12日現在で4件中2件である。また、出席停止措置は、一定期間家庭で生活を振り返らせることで落ち着きを取り戻させる指導であるが、家庭との連携が難しく本来の成果を期待できるケースは少ない。今後は、PTA活動や公民館などで家庭教育支援の充実を図っていく。

**保護者のクレーム対応**

(新政クラブ)

**問**

俗にモンスターペアレ

ントといった自己中心とも言える保護者が増加し、学校運営において解決困難な要望が多いと聞く。文部科学省は、教職員の休職の背景の一つとして、保護者の理不尽な要求によるストレスを抱える職員の増加をあげており、学校全体の情報共有化と対処するマネジメントが必要と考えるが、その実態と対処は。

**答**

保護者が校長を恐喝する事件や飲酒して職員室で暴れ、警察官に逮捕される事案などが発生している。こうした事態に①教育活動の妨害者としてとらえ、毅然とした対応をする②理不尽な要求は拒否する③情報を共有して、対応は複数で行うことを徹底するよう、校長研修会で指導した。なお、明らかなる犯罪行為は、即座に警察へ通報し、被害届の提出を行う。



※モンスターペアレント：学校に対して理不尽な要求を繰り返したり、教育委員会などに訴えて学校に圧力をかける保護者。